

平成30年3月期 第2四半期決算説明会 データブック

平成29年11月29日
シダックス株式会社
(JASDAQ スタンダード : 4837)

平成30年3月期 第2四半期決算トピックス

I. 連結経営成績 [短信 サマリー及び[添付資料]2～3ページ記載]

わが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続き、景気は緩やかな持ち直しが継続している一方、海外経済においても緩やかな回復基調にはありますが、米国の政策運営や欧州の政治情勢の不安定さ、地政学リスクの高まり等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。また、個人消費においても緩やかな回復傾向で推移いたしました。賃金の伸び悩みや社会保険料の負担増加など将来不安を背景とした消費者の節約志向は依然として強く、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、“フードサービスから公共サービスまで提供可能な水平垂直統合型の企業構造”で他社との差別化を図り、プレミアムブランド戦略による高品質・高付加価値のサービスを提供するとともに、より一層の「安心・安全」な管理体制の強化、グループ総合力を活かしたトータルアウトソーシングによる営業拡大に努めるとともに、本部管理コスト削減による間接費の圧縮に取り組んでまいりました。

■ 平成30年3月期 第2四半期連結決算ハイライト

(単位:百万円)

	平成29年3月期				平成30年3月期				平成30年3月期	
	第2四半期累計(実績)		通期(実績)		第2四半期累計(実績)		PL前年同期比/BS前期末比		第2四半期累計(予想)	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率	期初予想	差額
売上高	75,110	100.0%	148,433	100.0%	72,240	100.0%	△2,869	△3.8%	75,300	△3,059
売上原価	67,018	89.2%	129,916	87.5%	63,824	88.3%	△3,194	△4.8%	—	—
売上総利益	8,091	10.8%	18,517	12.5%	8,416	11.7%	324	4.0%	—	—
販売費及び一般管理費	8,913	11.9%	17,247	11.6%	8,615	11.9%	△298	△3.3%	—	—
営業利益	△821	△1.1%	1,269	0.9%	△199	△0.3%	622	—	300	△499
営業外収益	441	0.6%	800	0.5%	399	0.6%	△41	△9.4%	—	—
営業外費用	3,026	4.0%	5,037	3.4%	1,895	2.6%	△1,131	△37.4%	—	—
経常利益	△3,406	△4.5%	△2,966	△2.0%	△1,694	△2.3%	1,712	—	△400	△1,294
特別利益	0	0.0%	1,309	0.9%	2,712	3.8%	2,711	—	—	—
特別損失	284	0.4%	1,312	0.9%	136	0.2%	△148	△52.3%	—	—
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益	△3,459	△4.6%	△3,220	△2.2%	397	0.6%	3,857	—	△300	697
総資産	71,856	—	67,223	—	58,773	—	△8,449	△12.6%	/	
純資産	6,547	—	7,403	—	7,035	—	△368	△5.0%		
自己資本	6,547	—	7,403	—	6,983	—	△420	△5.7%		
自己資本比率	9.1%	—	11.0%	—	11.9%	—	0.9%	—		
ROE(自己資本当期利益率)	△38.5%	—	△34.2%	—	5.5%	—	39.7%	—		
ROA(総資産経常利益率)	△4.7%	—	△4.2%	—	△2.7%	—	1.5%	—		

(注)【ROE】=親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益/自己資本合計(当年度(第2四半期)末・前年度末の平均値)×100(%)、【ROA】=経常利益/総資産合計(当年度(第2四半期)末・前年度末の平均値)×100(%)

【売上高】722.4億円(期初予想対比△4.1%)

□前期実施した不採算店舗の撤退等の影響等があったものの、全体としては概ね計画通り。

【営業利益】△1.9億円(期初予想3億円)

【経常利益】△16.9億円(期初予想△4億円)

□全グループをあげた赤字店舗の収益改善並びにコスト圧縮効果もあり、前期比で営業利益及び経常利益は赤字改善となったものの、期初予想を下回る。

【純利益】3.9億円(期初予想△3億円)

□信託受益権を譲渡したこと等により四半期純利益計画を上回る。

II. セグメント別業績の増減説明

[短信【添付資料】2～3ページ及び12～13ページ記載]

■ セグメント別業績

(単位:百万円)

売上高	28年9月期	29年9月期	増減額	増減率
コントラクトフード事業	15,121	14,638	△ 482	△3.2%
メディカルフード事業	16,732	16,061	△ 670	△4.0%
トータルアウトソーシング事業	20,921	21,519	597	2.9%
レストランカラオケ事業	9,869	8,598	△ 1,270	△12.9%
コンビニエンス中食事業	7,299	7,261	△ 37	△0.5%
エスロジックス事業	20,246	19,217	△ 1,029	△5.1%
その他	4,467	4,038	△ 428	△9.6%
消去及び全社	△ 19,547	△ 19,095	451	2.3%
売上高 計	75,110	72,240	△ 2,869	△3.8%

(単位:百万円)

セグメント利益	28年9月期	利益率	29年9月期	利益率	増減額	増減率
コントラクトフード事業	736	4.9%	510	3.5%	△ 225	△30.6%
メディカルフード事業	497	3.0%	327	2.0%	△ 170	△34.2%
トータルアウトソーシング事業	774	3.7%	1,730	8.0%	955	123.4%
レストランカラオケ事業	△ 894	△9.1%	△ 1,090	△12.7%	△ 196	△22.0%
コンビニエンス中食事業	140	1.9%	161	2.2%	21	15.1%
エスロジックス事業	1,336	6.6%	1,356	7.1%	20	1.5%
その他	△ 280	△6.3%	△ 172	△4.3%	107	38.5%
消去及び全社≒HQコスト	△ 3,132	—	△ 3,023	—	108	3.5%
営業利益	△ 821	△1.1%	△ 199	△0.3%	622	75.8%

□ コントラクトフードサービス事業は、コスト管理の徹底、既存店舗の解約防止、赤字店舗の撤退などによって既存店舗の活性化と収益力の強化に取り組み、また、多様化するお客様のニーズを的確に捉え、グループ総合力を活かしたソリューションサービスの提案を行い、新規案件とも連動して営業開発を強化し、事業拡大と経営効率の改善に努めた結果、売上高は146.3億円(前年同期比3.2%減)、セグメント利益は5.1億円(前年同期比30.6%減)となりました。尚、10月に支給した業績回復感謝金による引当金の増減影響を加味すると実態のセグメント利益は7.2億円(前年同期比2.0%減)であります。

□ メディカルフードサービス事業は、院外調理品の充実、既存店舗の解約防止、赤字店舗の運営改善強化などによって既存店舗の活性化と収益性の向上に取り組み、また、お客様のニーズを的確に捉え、グループ総合力を活かしたソリューションサービスの提案を行い、新規案件とも連動して営業を強化し事業拡大に努めるとともに、収益力の強化と経営効率の改善を進めた結果、売上高は160.6億円(前年同期比4.0%減)、セグメント利益は3.2億円(前年同期比34.2%減)となりました。尚、10月に支給した業績回復感謝金による引当金の増減影響を加味すると実態のセグメント利益は6.2億円(前年同期比25.0%増)であります。

□ トータルアウトソーシング事業は、地方自治体においては財政再建と地域活性化へのニーズが高まっており、自治体が提供するサービスを民間に委託する流れが続いております。更にコンパクトタウン・スモールタウン化構想のもと、住民サービスの効率的な運用を目指した施設の統合や交通体系の整備が進められております。また、民間企業においては、景気回復傾向にあるものの、世界情勢においてやや不透明な状況が続いており、なお一層のコスト削減が迫られている状況にあります。このような環境のもと、車両運行管理事業・社会サービス事業とも、現場でサービスにあたる社員の教育に力を入れ、お客様のニーズに応じた業務を適正な価格にて受託するように努めた結果、売上高は215.1億円(前年同期比2.9%増)、セグメント利益は17.3億円(前年同期比123.4%増)となりました。尚、10月に支給した業績回復感謝金による引当金の増減影響を加味すると実態のセグメント利益は19.2億円(前年同期比148.1%増)であります。

□ レストランカラオケ事業は、個人消費が本格回復に至らない中、競合他社との低価格競争や娯楽の多様化による他業種との顧客獲得競争の激化など、本事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。このような環境のもと、様々な集客強化施策を行い、加えて宴会増加のために法人営業を強化し、販売促進を強化するとともに、原料費・労務費のコントロールを徹底し、収益性の向上に努め、セグメント損益の改善を進めてまいりました。この結果、売上高は85.9億円(前年同期比12.9%減)、セグメント損失は10.9億円(前年同四半期は8.9億円のセグメント損失)となりました。

□ コンビニエンス中食事業は、同業他社・大手コンビニエンスストアとの出店競争が依然厳しい環境ではありますが、お客様の生活ニーズに応じた利便性向上・満足度向上の実現に取り組み、地域特産品やこだわりの逸品の品揃えを進めるとともに、季節ごとのイベントや催事などを含めた販売促進を推進し、また、労務費及び廃棄の適正化などの経費効率運用を行い既存店のブラッシュアップと赤字店舗の改善に努めるとともに、グループ内での業務共有化による間接部門の効率化を進めた結果、売上高は72.6億円(前年同期比0.5%減)、セグメント利益は1.6億円(前年同期比15.1%増)となりました。

□ エスロジックス事業は、当社グループのスケールメリットを最大限に活かし、安全性・信頼性の高い商品を徹底した衛生管理体制で一括発注・配送を展開し、また、一元物流システムをより合理的に活用できるよう、標準メニュー導入の促進、調達コスト上昇の抑制、物流費の値上げ抑制などに努めるとともに、同業他社とのアライアンスによる共同購買機構によって、スケールメリットを最大限に活用し、収益性の向上にも努めた結果、売上高は192.1億円(前年同期比5.1%減)、セグメント利益は13.5億円(前年同期比1.5%増)となりました。

Ⅲ. 連結貸借対照表の増減説明

[短信【添付資料】4ページ及び5～6ページ記載]

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	29年3月期	29年9月期	増減額
現金及び預金	8,543	11,739	3,196
売上債権	12,968	12,940	△ 28
その他流動資産	5,861	5,340	△ 520
有形固定資産	22,710	12,754	△ 9,956
のれん	1,259	1,222	△ 37
敷金及び保証金	4,800	4,718	△ 81
その他固定資産・投資等	11,079	10,057	△ 1,021
資産計	67,223	58,773	△ 8,449

(単位:百万円)

	29年3月期	29年9月期	増減額
仕入債務	7,176	6,978	△ 198
借入金・社債(短期・長期)	34,270	24,842	△ 9,428
リース債務(短期・長期)	2,532	1,879	△ 653
資産除去債務	2,115	2,217	102
その他負債	13,725	15,820	2,094
負債計	59,819	51,737	△ 8,081
純資産	7,403	7,035	△ 368
自己資本比率	11.0%	11.9%	0.9%

□ 総資産は、前期末に比べ84.4億円減少し587.7億円(前期末比12.6%減)となりました。

主に、現金及び預金が31.9億円増加した一方で、当社が保有する土地及び建物を信託財産とする信託受益権を譲渡したこと等により有形固定資産が99.5億円及び株式の売却代金の回収等によりその他固定資産・投資等が10.2億円減少したことによります。

□ 負債は、前期末に比べ80.8億円減少し517.3億円(前期末比13.5%減)となりました。

主に、返済等により借入金・社債が94.2億円減少したことによります。

□ 純資産は、前期末に比べ3.6億円減少し70.3億円(前期末比5.0%減)となりました。減少要因としては、配当5.8億円の支給によるものであります。

主に、親会社株主に帰属する四半期純利益3.9億円の計上と剰余金の配当5.8億円及び為替相場の変動により為替換算調整勘定が2.3億円減少したことによります。

以上の結果、当第2四半期末における自己資本比率は、2017年3月実績に比して、0.9ポイント増加し、11.9%となりました。

IV. 連結キャッシュ・フロー計算書の増減及び財政状態の説明

[短信【添付資料】4ページ及び9～10ページ記載]

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	28年9月期	29年9月期	増減額
営業活動キャッシュ・フロー	1,752	3,645	1,892
投資活動キャッシュ・フロー	△ 917	11,368	12,286
財務活動キャッシュ・フロー	1,839	△ 11,280	△ 13,119
換算差額	△ 28	△ 15	13
現金及び現金同等物の増減額	2,646	3,718	1,071
現金及び現金同等物の期首残高	10,362	7,894	
現金及び現金同等物の期末残高	13,009	11,612	

□ 営業活動の結果得られた資金は36.4億円(前年同期は17.5億円の資金獲得)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益が8.8億円計上されたほか、固定資産売却益が26.9億円あった一方、減価償却費が16.1億円、減損損失が0.7億円、賞与引当金の増加額が3.1億円、持分法による投資損失が9.0億円、未払消費税等の増加額が2.8億円並びに未払金の増加額が19.1億円あったことによります。

□ 投資活動の結果得られた資金は113.6億円(前年同期は9.1億円の資金使用)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が7.4億円並びに貸付による支出が6.9億円あった一方、定期預金及び拘束性預金の払戻による収入が5.7億円、有形固定資産の売却による収入が119.2億円並びに過年度子会社株式売却代金の回収による収入が5.7億円あったことによります。

□ 財務活動の結果使用した資金は112.8億円(前年同期は18.3億円の資金獲得)となりました。

これは主に、長期借入れによる収入が20.0億円あった一方、短期借入金の減少額が20.0億円、リース債務の返済による支出が6.5億円、長期借入金の返済による支出が92.4億円並びに配当金の支払額が5.8億円あったことによります。

以上の結果、当第2四半期末における「現金及び現金同等物」は、前期末に比べ37.1億円増加し116.1億円(前期末比47.1%増)となりました。

■ キャッシュ・フロー指標の推移

	28年9月期	29年3月期	29年9月期
自己資本比率(%)	9.1	11.0	11.9
時価ベースの自己資本比率(%)	22.6	25.2	28.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	1,119.7	2,118.8	376.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	4.7	2.3	10.5

■ 有利子負債等残高の推移

(単位:百万円)

	28年9月期	29年3月期	29年9月期	増減額
借入金・社債	36,398	34,270	24,842	△ 9,428
リース債務	1,542	2,532	1,879	△ 653
割賦未払金	1,316	980	698	△ 282
未経過リース料期末残高相当額(注)	718	814	855	40
合計	39,975	38,597	28,275	△ 10,322

(注)不動産リース取引は除く

V. 平成30年3月期の通期連結業績予想

[短信 サマリー 及び【添付資料】4ページ記載]

■ 平成30年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点において5月19日に発表しました業績予想を変更していません。

(単位:百万円)

	29年3月期 実績	30年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	148,433	152,000	3,566	2.4%
営業利益	1,269	2,200	930	73.3%
経常利益	△ 2,966	970	3,936	—
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 3,220	500	3,720	—

VI. セグメント別店舗数推移表

28年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コントラクト	増加		8	7	2	3	1	3	24	2	1	2	4	2	4	39
	減少		3	2	5	3	6	4	23	5	2	7	1	5	30	73
	残	1,315	1,320	1,325	1,322	1,322	1,317	1,316	1,316	1,313	1,312	1,307	1,310	1,307	1,281	1,281
ﾁﾝｲﾝﾙ	増加		31	2	2	5		2	42	1	1	2	1	2	2	51
	減少		3	7	7	7	4	4	32	5	4	4	4	0	39	84
	残	797	825	820	815	813	809	807	807	803	800	802	799	801	764	764
レストランカラオケ	増加		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減少		3	0	0	0	1	1	5	0	0	1	1	1	2	10
	残	279	276	276	276	276	275	274	274	274	274	273	272	271	269	269
車両管理台数	増加		115	26	21	18	19	15	214	12	30	10	38	9	10	323
	減少		183	27	33	18	14	20	295	38	18	9	7	10	19	396
	残	3,611	3,543	3,542	3,530	3,530	3,535	3,530	3,530	3,504	3,516	3,517	3,548	3,547	3,538	3,538
社会管理人員	増加		709	38	9	55	33	23	867	12	18	49	6	15	32	999
	減少		572	67	69	31	26	61	826	81	7	16	42	4	28	1,004
	残	8,680	8,817	8,788	8,728	8,752	8,759	8,721	8,721	8,652	8,663	8,696	8,660	8,671	8,675	8,675
コンビニエンス中食	残	368			374			369			369				361	

29年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コントラクト	増加		10	4	4	0	1	7	26	4	5	0	2	0	2	39
	減少		6	8	4	3	3	11	35	2	3	4	8	3	33	88
	残	1,281	1,285	1,281	1,281	1,278	1,276	1,272	1,272	1,274	1,276	1,272	1,266	1,263	1,232	1,232
ﾁﾝｲﾝﾙ	増加		25	4	8	0	1	4	42	4	1	1	0	0	2	50
	減少		2	4	1	3	7	9	26	7	3	0	8	2	34	80
	残	764	787	787	794	791	785	780	780	777	775	776	768	766	734	734
レストランカラオケ	増加			1					1						1	1
	減少			4	3	1	44	24	76	2	0	1	2	0	0	81
	残	269	269	266	263	262	218	194	194	192	192	191	189	189	189	189
車両管理台数	増加		131	13	25	32	18	24	243	23	20	22	21	10	12	351
	減少		95	20	34	24	17	18	208	65	17	13	9	16	14	342
	残	3,538	3,574	3,567	3,558	3,566	3,567	3,573	3,573	3,531	3,534	3,543	3,555	3,549	3,547	3,547
社会管理人員	増加		661	14	14	47	53	27	816	49	15	12	8	3	4	907
	減少		501	14	3	7	83	97	705	60	3	52	13	1	21	855
	残	8,675	8,835	8,835	8,846	8,886	8,856	8,786	8,786	8,775	8,787	8,747	8,742	8,744	8,727	8,727
コンビニエンス中食	残	361			364			362			370				364	

30年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コントラクト	増加		19	0	2	0	3	1	25							
	減少		4	5	4	8	4	5	30							
	残	1,232	1,247	1,242	1,240	1,232	1,231	1,227	1,227							
ﾁﾝｲﾝﾙ	増加		20	2	0	4	0	0	26							
	減少		3	3	4	1	2	2	15							
	残	734	751	750	746	749	747	745	745							
レストランカラオケ	増加								0							
	減少			1		2	1		4							
	残	189	189	188	188	186	185	185	185							
車両管理台数	増加		122	16	21	15	13	24	211							
	減少		159	18	16	28	10	13	244							
	残	3,547	3,510	3,508	3,513	3,500	3,503	3,514	3,514							
社会管理人員	増加		678	113	23	30	157	35	1,036							
	減少		660	77	33	53	126	66	1,015							
	残	8,727	8,745	8,781	8,771	8,748	8,779	8,748	8,748							
コンビニエンス中食	残	364			375			374								

VII. レストランカラオケ事業 月次売上・客数推移

28年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)	2,457,108	2,687,991	2,250,263	2,469,325	2,951,708	2,251,615	15,068,010	2,157,582	2,217,603	3,779,197	2,700,042	1,984,800	2,394,077	30,301,310
客数(千人)	1,702	1,733	1,542	1,668	1,833	1,529	10,007	1,457	1,407	1,891	1,613	1,351	1,616	19,342

29年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)	2,121,737	2,149,275	1,927,537	2,170,017	2,311,890	1,680,480	12,360,935	1,520,073	1,551,220	2,621,353	1,897,031	1,328,450	1,779,755	23,058,818
客数(千人)	1,407	1,425	1,348	1,440	1,518	1,135	8,273	1,018	960	1,312	1,139	892	1,186	14,780

30年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)	1,455,064	1,518,486	1,382,069	1,587,473	1,757,914	1,529,145	9,230,151							
客数(千人)	951	993	976	1,072	1,167	1,026	6,185							

※レストランカラオケ事業にはシダックストラベラーズコミュニティ㈱(持分法適用関連会社)の実績が含まれております。